第24回教育委員会

平成29年10月11日
午後3時30分
本庁舎地下1階第11共通会議室

議　案

議案第121号　　平成29年度　大阪市「全国学力・学習状況調査」の結果について

議案第121号

平成29年度　大阪市「全国学力・学習状況調査」の結果について

平成29年度　大阪市「全国学力・学習状況調査」の結果について公表する

公表項目

(1)調査の概要

- 教科に関する調査結果の概要
- 平 均 正 答 率　全国との経年比較
- 平均無解答率　全国との経年比較
- 正答数分布
- 大阪市の平均正答率・平均正答数・平均無解答率

(2)教科に関する調査結果

- 小学校国語
- 小学校算数
- 中学校国語
- 中学校数学

(3)質問紙調査の結果

- 授業づくりの考え方
- 生活習慣づくり
- 学習習慣づくり
- 自尊感情・規範意識
- 地域・社会とのつながり
- 教育課程の取組

(4)学力向上に向けた大阪市の取組

- 小学校学力経年調査の実施
- 学習教材データの配信
- 学校力ＵＰベース事業の実施（習熟度別少人数授業）
- 学校力ＵＰ支援事業の実施
- 主体的・対話的で深い学びの推進
- 理科教育の充実
- 学力向上支援サポーターの配置
- 英語イノベーション事業の実施
- ＩＣＴを活用した教育の推進
- 学校図書館活性化事業の実施・学校図書館活用推進事業の実施
- 生活指導支援員の配置
- 校園内研修支援・ＯＪＴ事業の実施
- 幼稚園・保育所・小学校の連携
- 学校キャラバン隊の派遣
- 小中一貫した教育の推進
- 学校元気アップ地域本部事業の実施

(5)保護者用リーフレット「いっしょにのばそう！子どもの学力」

(6)教員用リーフレット「３つの学(まなび)bee」

平成 29 年度
大阪市「全国学力・学習状況調査」
の結果について

平成 29 年 10 月

大阪市教育委員会

はじめに

「全国学力・学習状況調査」は、国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てることを目的に、平成 19 年度より実施しています。

大阪市教育委員会では、保護者や市民の皆様に説明責任を果たすとともに、教育により関心をお持ちいただくため、本調査結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面ではありますが、学校が総体となって取り組むべき課題であると捉え、平成 20 年度より調査結果と学力向上に向けた取組を併せて公表してきました。

さらに、平成 25 年度からは、大阪市立学校活性化条例や大阪市教育振興基本計画の趣旨に基づき、大阪市教育委員会の責任において、各校長が、「全国学力・学習状況調査」の自校における平均正答率を含む調査結果及び調査結果の分析から明らかになった現状や、自校の取組の成果、今後取り組むべき課題等を公表しています。

児童生徒の学力向上には、学校はもとより、保護者、地域（市民）の方々に本市の子どもたちの現状を理解していただき、学校・家庭・地域が連携して取り組むことが重要です。そこで、本調査の結果を基に分析を行い、「児童生徒のがんばり」と「今後の課題」、「学校や家庭での取組のポイント」「効果があった取組例」等としてまとめ公表します。

また、大阪市教育振興基本計画に基づいた「学力向上に向けた大阪市の取組」の概要も示しています。

大阪市教育委員会としましては、教育施策の充実を図るとともに、昨年度より取り組んでいる「waku×2.com-bee（わくわくコンビー）（大阪市の授業のスタンダード）」等の活用も併せ、教員の指導力向上や本市の児童生徒の学力向上に向け、より一層の取組を進めていきます。

（参考）

実施年度	全　国	大　阪　市	備　考
平成 19 年度～平成 21 年度	悉皆調査※1	悉皆調査（全小中学校が参加）	
平成 22 年度	抽出調査※2	抽出調査＋希望利用方式※3（全小中学校が参加）	
平成 23 年度	実施なし	希望利用方式（全小中学校が参加）	
平成 24 年度	抽出調査	抽出調査＋希望利用方式（全小中学校が参加）	・理科に関する調査
平成 25 年度	悉皆調査	悉皆調査（全小中学校が参加）	・経年変化分析調査 ・保護者に対する調査 ・教育委員会に対する調査
平成 26 年度	悉皆調査	悉皆調査（全小中学校が参加）	
平成 27 年度	悉皆調査	悉皆調査（全小中学校が参加）	・理科に関する調査
平成 28 年度	悉皆調査	悉皆調査（全小中学校が参加）	
平成 29 年度	悉皆調査	悉皆調査（全小中学校が参加）	・指定都市の結果公表

※1：全国の小中学校をもれなく調査する方法　　※2：全小中学校のうち、一定の割合の学校を対象として調査する方法

※3：学校長の希望により、調査を利用することができる方法

目　　次

◇　調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

・教科に関する調査結果の概要　　・平均正答率《大阪市と全国》
・平均無解答率《大阪市と全国》　　・各問題における正答数分布
・大阪市の平均正答率・平均正答数・平均無解答率

◇　教科に関する調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

・小学校国語　　・小学校算数
・中学校国語　　・中学校数学

◇　質問紙調査の結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　21

・授業づくりの考え方　　・生活習慣づくり　　・学習習慣づくり
・自尊感情・規範意識　　・地域・社会とのつながり　　・教育課程の取組

◇　学力向上に向けた大阪市の取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　37

・小学校学力経年調査の実施
・学校力ＵＰベース事業の実施
（習熟度別少人数授業）
・主体的・対話的で深い学びの推進
・学力向上支援サポーターの配置
・ＩＣＴを活用した教育の推進
・生活指導支援員の配置
・幼稚園・保育所・小学校の連携
・小中一貫した教育の推進
・学習教材データの配信
・学校力ＵＰ支援事業の実施　※
・理科教育の充実
・英語イノベーション事業の実施
・学校図書館活性化事業の実施
学校図書館活用推進事業の実施
・校園内研修支援・ＯＪＴ事業の実施
・学校キャラバン隊の派遣
・学校元気アップ地域本部事業の実施

（※　平成 29 年４月より開始）

調査の概要

１　調査の目的

◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、大阪市教育振興基本計画に基づく教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

◇以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２　調査の対象

小学校第６学年の全児童

中学校第３学年の全生徒

３　調査内容

◇教科に関する調査（国語、算数・数学）

・主として「知識」に関する問題（Ａ問題）

・主として「活用」に関する問題（Ｂ問題）

◇質問紙調査

・児童生徒に対する調査

・学校に対する調査

４　調査方式　　悉皆調査

５　調査日時　　平成 29 年４月 18 日(火)

６　調査を実施した学校・児童生徒数

・小学校　291 校、17,384 人

・中学校　131 校、16,885 人

教科に関する調査結果の概要

●平均正答率の「対全国比」では、小学校において国語Ｂ、算数Ｂ問題がやや低くなっており、中学校においては、28 年度の結果に比べ、国語Ｂにおいて若干の改善が見られるものの、「対全国比」は、ほぼ横ばいです。

●平均無解答率は、小学校においては全国との差にあまり変化は見られません。中学校においては、数学Ｂ問題で全国との差がやや広がりましたが、それ以外についての変化は見られません。

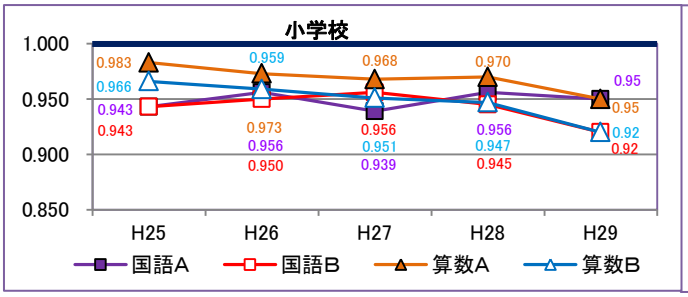
平均正答率《大阪市と全国》

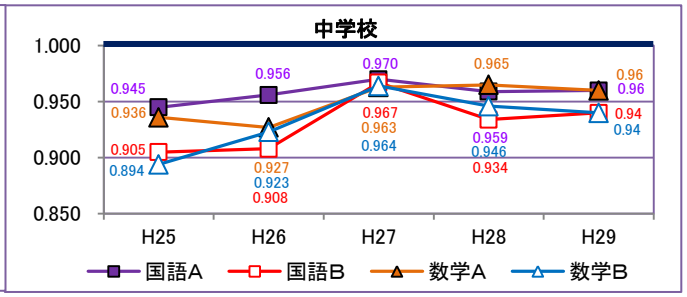
※悉皆調査の平成 25,26,27,28,29 年度を取り上げています。

		H25			H26			H27			H28			H29		
		大阪市	全国	全国比	大阪市	全国	全国比	大阪市	全国	全国比	大阪市	全国	全国比	大阪市	全国	全国比
小国	A問題	59.1	62.7	0.943	69.7	72.9	0.956	65.7	70.0	0.939	69.7	72.9	0.956	71	74.8	0.95
	B問題	46.6	49.4	0.943	52.7	55.5	0.950	62.5	65.4	0.956	54.6	57.8	0.945	53	57.5	0.92
小算	A問題	75.9	77.2	0.983	76.0	78.1	0.973	72.8	75.2	0.968	75.3	77.6	0.970	75	78.6	0.95
	B問題	56.4	58.4	0.966	55.8	58.2	0.959	42.8	45.0	0.951	44.7	47.2	0.947	42	45.9	0.92
中国	A問題	72.2	76.4	0.945	75.9	79.4	0.956	73.5	75.8	0.970	72.5	75.6	0.959	74	77.4	0.96
	B問題	61.0	67.4	0.905	46.3	51.0	0.908	63.6	65.8	0.967	62.1	66.5	0.934	68	72.2	0.94
中数	A問題	59.6	63.7	0.936	62.5	67.4	0.927	62.0	64.4	0.963	60.0	62.2	0.965	62	64.6	0.96
	B問題	37.1	41.5	0.894	55.2	59.8	0.923	40.1	41.6	0.964	41.7	44.1	0.946	45	48.1	0.94

■ 対全国比の経年比

※グラフは、全国の平均正答率を１としたときの大阪市の割合を表したものです。

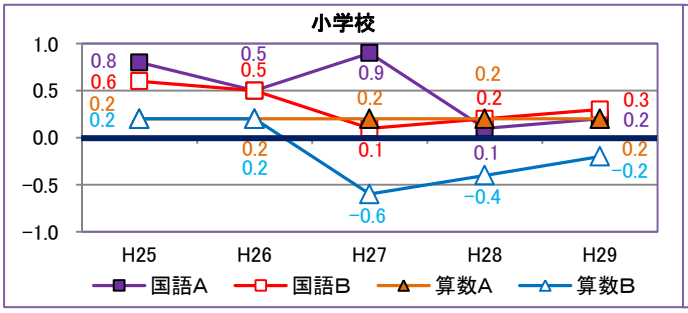


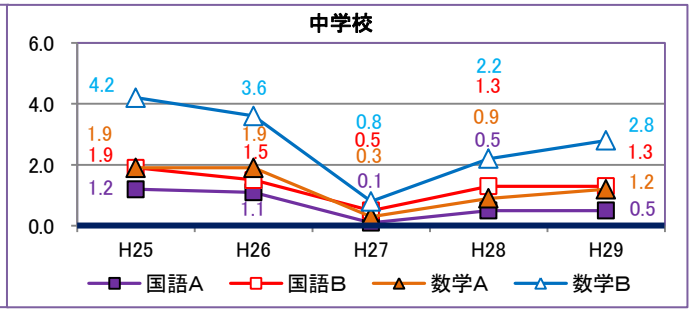


平均無解答率《大阪市と全国》

		H25			H26			H27			H28			H29		
		大阪市	全国	差	大阪市	全国	差	大阪市	全国	差	大阪市	全国	差	大阪市	全国	差
小国	A問題	11.5	10.7	0.8	2.8	2.3	0.5	4.5	3.6	0.9	5.4	5.3	0.1	3.0	2.8	0.2
	B問題	14.2	13.6	0.6	9.7	9.2	0.5	6.2	6.1	0.1	4.8	4.6	0.2	4.6	4.3	0.3
小算	A問題	1.9	1.7	0.2	1.1	0.9	0.2	2.0	1.8	0.2	2.0	1.8	0.2	1.8	1.6	0.2
	B問題	6.5	6.3	0.2	4.5	4.3	0.2	8.5	9.1	-0.6	7.0	7.4	-0.4	6.2	6.4	-0.2
中国	A問題	3.6	2.4	1.2	4.2	3.1	1.1	2.7	2.6	0.1	2.5	2.0	0.5	2.9	2.4	0.5
	B問題	4.7	2.8	1.9	5.0	3.5	1.5	2.7	2.2	0.5	5.7	4.4	1.3	5.1	3.8	1.3
中数	A問題	7.2	5.3	1.9	6.2	4.3	1.9	4.0	3.7	0.3	7.2	6.3	0.9	7.5	6.3	1.2
	B問題	20.9	16.7	4.2	14.5	10.9	3.6	16.1	15.3	0.8	16.9	14.7	2.2	14.5	11.7	2.8

■ 対全国差経年比較

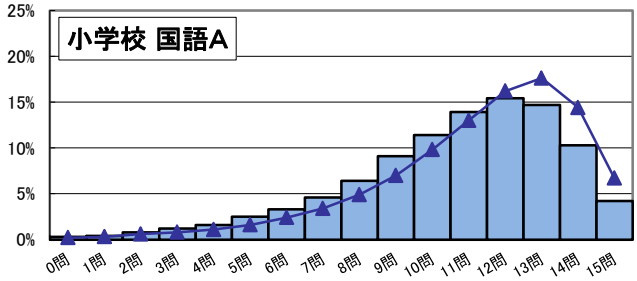


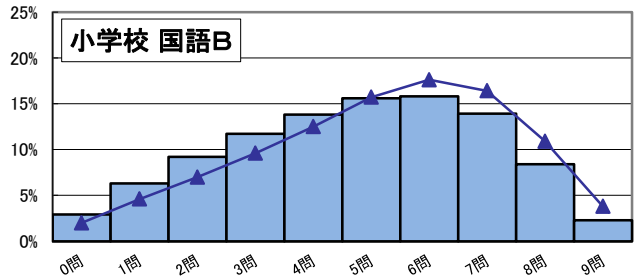


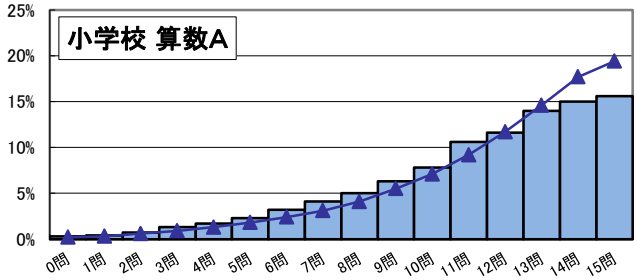
各問題における正答数分布

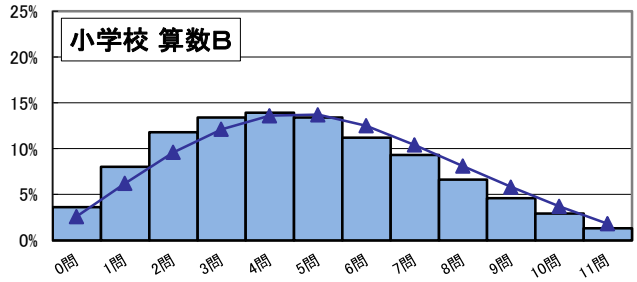
下のグラフは、大阪市を棒グラフ、全国を折れ線グラフで示しています。大阪市のグラフは、全国とほぼ同じような形状ですが、いずれの教科においても、棒グラフの方が左に寄っていることから、大阪市は全国に比べて正答数の少ない児童生徒の割合が高いことが分かります。

小学校

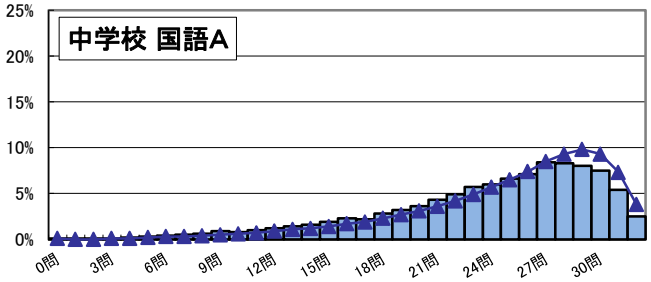


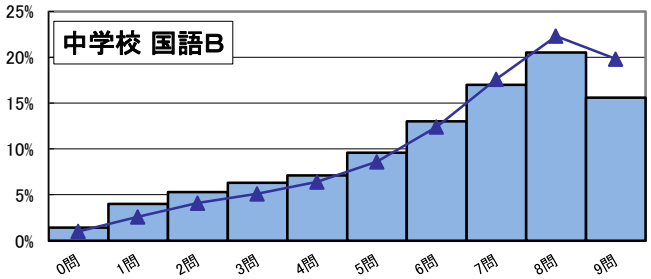


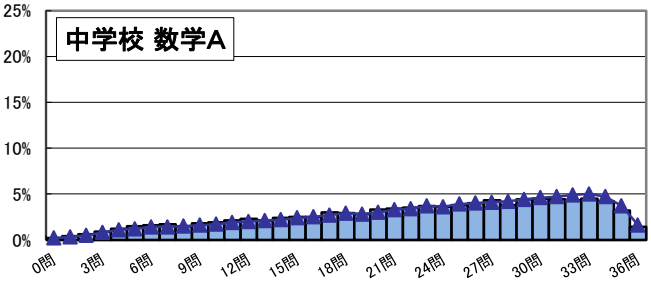


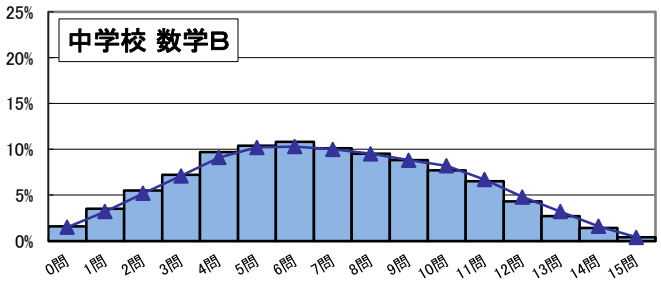


中学校









大阪市の平均正答率・平均正答数・平均無解答率

小学校

	国語A	国語B	算数A	算数B
平均正答率	71	53	75	42
平均正答数	10.6 問/15 問	4.7 問/9 問	11.3 問/15 問	4.6 問/11 問
平均無解答率	3.0	4.6	1.8	6.2

中学校

	国語A	国語B	数学A	数学B
平均正答率	74	68	62	45
平均正答数	23.7 問/32 問	6.1 問/9 問	22.2 問/36 問	6.8 問/15 問
平均無解答率	2.9	5.1	7.5	14.5